

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータの利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 リウマチ膠原病センター 北田彩子

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 リウマチ膠原病センター 北田彩子

# 膠原病科を受診中の方を対象としたステロイドの影響に関する研究

## 1.研究の対象

2003年4月1日～2021年3月16日までに膠原病科（リウマチ膠原病センター）を受診し、ステロイド（プレドニゾン、メチルプレドニゾンなど）を投与された45歳以下の方

## 2.研究の目的・方法

ステロイドの使用が圧迫骨折の発生や骨密度にどのように影響を与えるのか、個人の背景（年齢、身長体重や採血などの検査結果）と治療内容、病気の状態などを解析し、ステロイド性骨粗鬆症の予防につなげる手がかりを見つけることを目的とします。

この調査では診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2023年3月31日までの予定です。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

病歴、免疫抑制剤などの治療歴、骨粗鬆症の治療歴、採血などの検査結果、骨密度検査、レントゲン検査結果、症状を伴う圧迫骨折の有無、カルテ番号 等

## 4.外部への試料・情報の提供

なし